

スポーツ

川越

発行 川越市体育協会



やった！日本新記録 全国レクより

「幸」

理事長 岡野安夫

人間の幸せの第一条件は健康であると考えます。その健康の維持のために、私達はいろいろなスポーツにとりくみます。例えば、ジョギングにはじまり、野球にバレーにソフトに、あるいはサッカー、剣道、テニス、ゲートボール等に。しかもそうした健康指向のスポーツ人口は年々急増してまいりました。

本市においても、市民のスポーツへの参加は年毎に増加しており、特に市民体育祭の参加者は二万名に近く、中でも学校体育館の利用者は年間二〇万人を越しております。このような社会の動向のもとで、昨年関口会長から年頭所感として、新しい時代に対応する体協としての目標が出され、市民の心身の向上に寄与する方針が示されました。そして、他市に劣る貧弱な体育施設の改善を訴え、何時でも誰でも気軽に利用できる体育施設の建設を請願してまいりました。

この運動に対しては、二万名に近い市民の皆様熱心な協力をいただきました。その後、市当局と二度の話し合いを持ちましたが、その中で、体協の多くの理事から一番利用度の高い総合体育館の早期建設を望む意見が出されました。

今後とも施設建設のために市当局の深いご理解とご協力をこの紙面をかりてお願いする次第です。

体協加盟の単位団は、それぞれの役員指導者の協力で年々充実し、市民の皆様もスポーツを真に理解されて、それぞれの立場で活躍されております。

体協では市民の皆様の声を体育施設建設に反映しつつ、アマチュアスポーツの第一線で活動するリーダーとしての自覚と実践を深めていくつもりです。そして市民に愛される体協として皆様のご指導を戴きながら健康で幸せな人の和を広げていきたいと考えます。

市長と語る

去る二月十六日(火)、市役所七階会議室において、第四回川越市体育協会理事会が開催されました。

また、お忙しいなか、特別に時間をさいて川合市長が出席され、総合体育施設の建設に関して充分に意見交換がなされました。その内容を紹介します。

体育施設建設は急務である

まず、市長が冒頭のあいさつとなかで、次のように述べられました。

第一に、現在の川越市は体育施設の建設が他市に比べて遅れていることを痛感している。早急に取り組まなければならないと考えているが、この建設事業には時間も金もかかる大変な事業なので、出



来るものから着手していきたい。

市民体育館の床の改修

次に現在の市民体育館をより使いやすくするために、床を板張りにする。(これは、現在コンクリートの上に合成樹脂を流してあるだけのため、着地時等足首、膝、腰等にかかる荷重が大きく、そのショックをやわらげるための改修です)

初雁球場にナイターを

三番目として、初雁球場に夜間照明設備を設置する。(このナイター工事には五十七年度の当初予算に二億五千万円から三億円を計上してあるそうです)

水上公園の誘致は全力で!

四番目として県の第三水上公園の誘致問題であるが、市としては全力をあげてこれに対処する覚悟である。

体育館は総合?ミニ?

また、体育館を建設するに当たって、総合体育館にするか、または地域性を考えてミニ体育館にするか、現在考慮中である。今後体協や市民の声を充分に聞いていきたい。(これについては意見交換の場で各理事から総合体育館にして



欲しいと強い要望がありました)

陸上競技場の建設

最後になってしまったが、私の永年の懸念である陸上競技場はなんとしても早く作りたい。等々、中広く語って下さいました。

その後、ライフルの村田理事、

スポーツの山本理事、三木学識経験理事、剣道の水野理事、新井学識経験理事等から質問や意見、要望が出され、川合市長も充分に耳を傾けて下さいました。

最後に関口会長が次のように市長に要望しました。

現在の川越市には三十万都市の顔が必要ではないか、また、体育施設を建設するにあたり、今まで



のスポーツは競技中心であったがこれからのスポーツは体力づくり、健康づくりが主流を占めるであろう。言い換えれば、体育施設は福祉施設との二面性があるのではないかと思う。その意味でも早急に実現してもらいたい。

以上一時間半にわたって双方の意見が交換されましたが、紙面の都合上、市長のあいさつを中心に掲げてみました。

現在六十周年記念事業の企画委員会が発足しており、建設部門においては関口会長が体協を代表して委員に選出され、着々と準備が進められています。

図面等具体案が出されましたらその都度この紙面において皆様にお知らせしたいと思います。

(女子) 昭和55年度と昭和56年度及び全国標準値との比較 (男子)

Table with 4 columns for age groups (30, 40, 50, 60) and 4 rows for metrics (反復横とび回, 垂直とび, 握, 加力). Each cell contains data for川越55M, 56M, and 全国標準, with symbols indicating performance relative to the previous year and national standards.

落ちている急歩(持久力)と握力! 壮年体力テスト結果より

急歩 (1000m)

急歩 (1500m)

※昭和56年度の平均値が昭和55年度の平均値及び全国標準値より優れる.....○

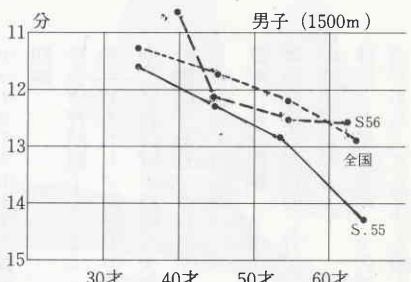
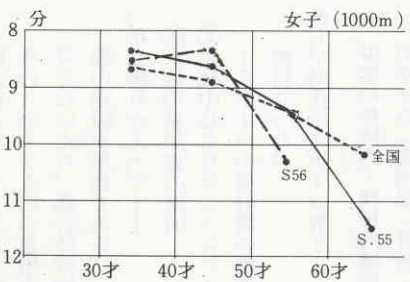
劣る.....× 同じ.....△ M=平均値

※全国標準値.....1975年度版「日本人の体力標準値」

昨年十月十日に実施された壮年体力テストの結果が集計された。集計結果を、全国標準値、五十五年度実施者平均値と比較してみると、男子・女子共に、三十才代は全国比、五十五年度比ともに八十パーセント以上の種目数で優れた結果となったが、四十才以上の年代では、劣る種目数の方が多くなっている。特に男子の「握力」においては、年代が高くなるに従い、加速的に力が低下していることがわかった。また、「急歩」は五十五年度にくらべ、かなり高い数値が示されたが全国標準値からみると、やっと平均並に及んだ程度となった。しかし、全身のパワーを診断する種目である「垂直とび」は上昇しており、良い傾向であると言える。種目全般から見ると昨年度より優れた種目数は、四十種目中、二十三種目(同値一種目)であり、やや優れた結果になった。特に問題となる急歩と握力について考察してみる。

◆急歩

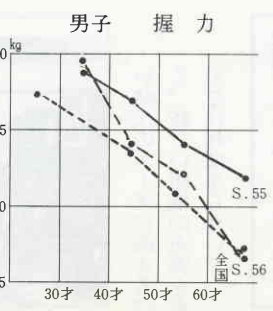
壮年の体力のうち、体の心肺機能と密接に関係する持久力は、最も重視されているものであり、そのバロメーターとしての急歩の向上は、昨年度から課題とされてい



急歩

◆握力

持久的運動を行ない、心肺機能を高めることは、高血圧病や動脈硬化への防止となることはあきらかであり、今後も市民の中に奨励していく必要がある。握力は、主に上腕筋の力を測定する種目であるが、グラフからわかるように、年令が高くなるに従い、下降現象が顕著である。これは日常生活の中で、重いものを持つて歩いたり、運んだりする機会が少なくなった結果ではなからうかひ弱な現代人と言われる昨今、これらの筋力を維持、促進していくことも、持久力の向上と共に大切である。



壮年体力テストは、今年も十月十日(日)に予定されており、多くの市民の参加を期待したい。最後に、体力テストの運営にご協力いただいた判定員の方々及び体育協会役員の皆様へ感謝申し上げます。体力テストの結果報告とした

総合開会式 功労者決まる!

10月10日(体育の日)、市民体育館において、第34回市民体育祭総合開会式が開催されました。

この開会式には、体育協会加盟26団体と、スポーツ少年団が加わり、総勢300人以上が一同に会しました。

また、その席上で昭和56年度の体育功労者(5名)と、優秀選手(202名)の表彰式が行なわれました。次の5名は、栄えある体育功労賞を受賞された方々です。

小野 健次 50才

剣道連盟副理事長

剣道6段居合道3段

大野 誠一 42才

体操連盟副会長

スポ少常任委員



体操少年団代表

小川 寿夫 41才

サッカー協会理事

サッカー少年団実技

指導者

二宮 浄倫 37才

小学校体育連盟幹事

長

仙波小学校体育主任

田口 勝也 38才

スケート連盟副会長

賀詞交換会 新しい年に向けて

1月9日(土)、川越市民会館において、恒例の体育関係者賀詞交換会が200名を越える参加者を得て盛大に開催されました。

以下関口会長の年頭のあいさつをご紹介します。

優秀選手について

人数的には昨年より減少しているが内容的には上まわっている。しかし、全体の85%が中・高生であり、これは体協として考える余地がある。

市民体育祭について

青年層が減少し、女性層と壮年層の参加が増加している。町内体育祭の参加者数を合わせると、市民の6人

7人に1人が市民体育祭に参加している。

専門委員会について

①組織委員会 体協を財団法人にすべく、各単位の

の実態把握に重点をおき

活動中

②指導委員会 公認指導者の

名簿作成(作成済)、

公認指導者の研修会等



③広報委員会 体協の活動をPRすべく、スポーツ

川越を発行

指導者養成について

新しい時代にマッチした指導者を養成すべく、市教委

とタイアップして講習会を

開催中

市民体力テストについて

今後ぜひ定着させなければ

ならないのではないか。

請願について

今までは既存の施設の効率的活用を計ってきたが、昨今のスポーツ人口の急増を見るにいたり、総合体育施設の建設が急務である。

一年を振りかえって……

①女性の参加者の増加

②競技中心よりコミュニティ

スポーツの愛好者の増加

が目立った。

新しい時代のスポーツ界……

少年の身体的・精神的健康

のゆがみ(肥満児・骨折・

暴力・自殺等の問題)

高校野球中心の高校スポー

ツの問題

渡り鳥団体の問題

アマチュアスポーツの賞金

問題

社会体育問題……コミュニ

ティースポーツ愛好者の急

増、これは健康指向の大衆

の動向であり、これらをど

う吸収していくか。

高齢化社会問題、スポーツ

界の今後の対処のし方。

今後の体協のあり方

体協としてはスポーツの原

点である「心と身体」を鍛え、

人間と社会の健康を育みつ

つ、今後処して行かなく

ればならない。また、新し

い時代のニーズにこたえるべ

く、新しい組織の充実を考

えなければならぬ。

全国レクリエーション大会

昨年十一月七・八日の両日、埼玉県において全国レクリエーション大会が開催されました。

川越市では三等宮妃殿下をお迎えし、なわとび講習会の部が盛大に行なわれました。

幼稚園生や小学生が音楽にのって見事なリズムなわとびの妙技を披露すれば、全国から集まった参加者も負けじとこれに挑戦、額に大粒の汗をうかべていました。

また同会場で、石森義晴君(飯能南高)が四重跳びの日本記録に挑戦、見事二十三回跳んで日本記録を樹立しました。



スケート連盟

川越市スケート連盟は、昭和三十七年に体協加盟以来、今年で、満二十年を迎えます。この間、市民へのスケートの普及を柱に、地道な活動を続けてまいりました。

市民スケート教室は、毎回盛況で、特に最近、チビっ子に負けず、お父さんやお母さんの参加が目立って増えております。三日間の講習で、ストップから、バックスケートまで覚え、自由に滑れる様になったと、喜ばれる様に、指導員一同、張り切っております。年間三回行なわれる、市民スケート教室へ、ぜひ御参加下さい。また、現在のホームリンクであ



ります。「東武川越スケートセンター」のオープンと同時に、小中学生の選手養成にも力を入れ始め、全くの初心者も、一人前のスピードスケート選手に鍛えており、県では、男女共、総合三位、小中

団体 だより

学生の県大会では、総合二位の成績をおさめるに至りました。

その他の活動としては、市民体育祭、川越スピード選手権大会の実施、また県内外大会への参加の他、各種団体で計画する、スケート教室への講師の派遣や、チャリティースケート教室の様を

奉仕活動も行なっております。なお、連盟へのお問合せは、

吉川まで。

バスケットボール連盟

バスケットボールはその名の通り「籠」にボールを入れて勝敗を競うスポーツです。本家米国では三大国技の一つとして広く普及し国民に愛されていますが、日本では今一つ人気は沸きません……。

ところで、本連盟ではバスケットボールを通して健全な児童生徒および社会人の育成を目指して活動しています。

- 一、バスケット教室……婦人層を対象に毎週土曜日市民体育館で
- 二、ミニバス教室……小学生を対象に夏休み中に川越小学校で
- 三、リーグ戦……クラブ対抗戦です。この試合を参考にして県民体育大会市町村対抗の部に選手団を派遣し、昭和55年度男子の部では堂々優勝を飾りました。
- 四、中学生バスケット大会(二月今年で4回を数えました。近隣郡市の中学校も招待して行ない、今年も、男子の部で霞東中、女子の部で大東中が優勝しました。

五、指導者講習会

など、年間の主な行事を紹介致しました。



会場の確保や運営面で苦労していますが、戸口会長を中心に鋭意努力中です。よろしく願います。

バドミントン連盟

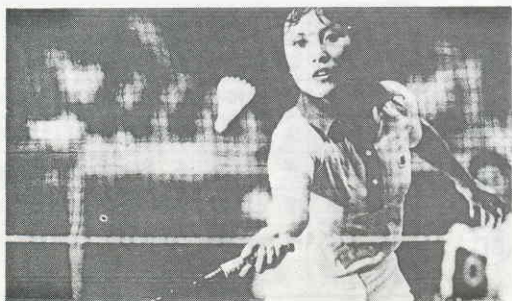
川越市バドミントン連盟は、バドミントン愛好者の育成と市民相互の親睦等を目的として、昭和四十八年に発足しました。

現在は加盟登録制ではありませんので市内在住在勤者は、自由に連盟の催しに参加することができます。現在、新報国製鉄所・デンヨー・川越市役所・日本ヘキスト・勤労青少年ホームのグループ、霞ケ関ママさんバドミントン・川南高OBクラブ・川商OBクラブな

どが団体のグループとして活動しています。個人の愛好者を含めると、その数は発足当時からすると大幅に増大して、活動場所に苦慮しているほどです。

年間の主な行事は、市のスポーツ教室・勤労青少年ホームのスポーツ教室・市民体育祭への参加・職場グループ対抗戦のほか、指導者講習会・定例練習会などを開催しています。

今後は、愛好者の動向や親睦を密にするために、加盟登録組織を再編成し、活動の充実をさらに図って、当初の目的を達成発展していかなければなりません。愛好者の協力をこの機会にお願いしたいと思います。



成 績 一 覧

市民ロードレース大会

第10回市民ロードレース大会が、十一月二十三日(日)上戸運動公園を中心とした会場で開催されました。

当日は、真冬を思わせるような寒さでしたが、選手達の吐く白い息が勝負への気迫を感じさせるようで、レースの雰囲気を一層盛り上げていたようでした。なお、今回初めて女子の部が設けられ約二〇名が参加、今回の大会が記念すべき第一回となったわけです。熱戦が繰り広げられた結果、優勝者は次の通りです。

種 別	氏 名	所 属
小学5年男	大 慶 己	小 小
小学6年男	木 下 弘 信	小 小
小学6年女	服 部 雅 子	小 小
中 学 男	高 谷 川 慶 子	東
中 学 女	高 佐 藤 苗	東
高 校 男	齊 藤 早 弘	南 野
高 校 女	齊 藤 村 正 博	星
青 年 壮年 (30~40)	川 小 川 欣 也	走 友 会
(41~50)	小 川 欣 也	大 日 本 印 刷
(51~60)	沼 沼 市 造	
一 般 女 子	長 谷 川 和	

ある選手は、スタート前の何と

も言えないやな気持、レース中は苦しくてやめたこともたびたびあったが、しかし走り終った後は何とも言えない良い気持ちですと語っていました。これは一つのことをやり遂げた後の満足感からくるものなのでしょうか。

市民駅伝競走大会

第十回市民駅伝競走大会は、十二月二〇日に芳野中を起点とするコースにおいて、約30チームを集め熱戦が展開されました。

当日は相当な寒さで、風も強く、レース中においても突風に体がおられ、苦勞している選手が見受けられるほどでした。

しかし駅伝大会ということで、各チームが力を合わせ、同じ目標に向って汗を流している姿は、本當に素晴らしいものでした。各チームが力を競った結果、優勝チームは



次のように決まりました。

種 別	チ ー ム 名
中学の部	初 雁 中 A
高校の部	城 西 川 越 高
実業団の部	大 日 本 印 刷 B
町内対抗の部	南 台
女子の部	霞 ヶ 関 東 中 A
スポーツ団体の部	中 体 連

● 大会を振り返って

一、すばらしい全身持久力を身につけている選手達

長い距離を走るときに一番大切なことは、「自分は、どの位のペースで走れば、最後まで走り通すことができるか」という自分のペースを知ることであると考えます。大会となると、この目標プラス記録が加味してきますが、それにしましても、選手の皆さんがすばらしい走法で、最後までペースも乱すことなく走り続ける精神力と体力に感動しました。

二、ひとりでも多くの参加を

市民の体力の現状を見ると、5分間走と、長い距離を走る能力に欠けている点、一般的傾向としてうかがえます。実は、この長い距離を走ったり歩いたりする能力、すなわち全身持久力が、成人にとつて、一番大切な体力であるわけです。ですから、多くの方が

市民体育祭スキー

第三十四回市民体育祭スキーの部は三月七日、新潟県の湯沢国際スキー場において、参加者一〇六名を集め盛大に開催されました。今年から新しく、大会前日にポ

ール講習会が行なわれ、参加者から大変好評を得ました。講習会の成果かどうか、当日は

けが人もなく、自慢の足前え？を存分に披露してくれました。下の表は各種目の優勝者です。あなたも参加してみませんか。



	大 回 転	回 転	綜 合
少年の部	竹 内 恵 一	竹 内 恵 一	竹 内 恵 一
少女の部	長 谷 川 裕 子	長 谷 川 裕 子	長 谷 川 裕 子
女子の部	良 見 伸 子	森 永 恵 子	影 山 雅 子
成年1部	渋 谷 晃	渋 谷 晃	渋 谷 晃
成年2部	河 合 誠	池 田 秋 夫	池 田 秋 夫
成年3部	清 水 明 夫	小 田 橋 寿 久	小 田 橋 寿 久
実業団対抗	東 京 電 力 A (池 田 ・ 伊 藤 ・ 竹 田)		

編 集 後 記

先日偶然に体協二十五周年の記念誌「体協のあゆみ」を見ることが出来ました。十年も前のものになりますが、六十二ページからなる大変立派なものです。歴代会長の座談会をはじめ、盛りだくさんの内容で、資料も数多くそろえてあります。

その中の体育施設の項を現在と比べてみますと、今とほとんど変わらぬ内容です。わずかに武道館が建てられたぐらいです。

十年間のスポーツ人口の増加は大変な数になると思われます。本稿を通じて総合運動公園が一日も早く建設されることを皆様とともに願いたいと思います。